



～いつも仲間と一緒にいて、驚くとココロ丸くな、可愛..だんご虫は、子ども達の大切なお友達～

### たくさんの初体験が始まるよ～

プレーパークわたのは(以下『プレわた』)の移転と同時に始まる『ごちゃまぜプロジェクト』は、誰もが来ることができて、誰にとっても居心地のいい場所です。

2011年の夏、今のプレわたは、なにもない更地でした。そして、そこに来る子どもや大人たちと遊具や設備、約束ごとをつくってきました。

ごちゃまぜプロジェクトが始まる新拠点では、14年前同様、なにもない更地からみんなでつくるのですが(前号でも紹介)、今来ている子どもたちは「自分たちでプレーパークをつくる」という言葉にイメージがわからない様子で、「えー建物ないの?やだ～」 「つくるのなんて面倒くさい」と吠えています(笑)でもやっぱり、すご-----く気になるのか「場所どこ?ここ(プレわた)からどれくらいかかるかな?」「ビニールハウスの広さはどれくらい?」と、毎回いろいろな子が同じことを聞いてきます。距離が気になった子は、自転車で時間を計り「信号も止まって、一時停止もして、普通に走って11分だった」と報告してきました。

自分たちの“遊びのテリトリー”内にあることがわかり安心している様子です。

そして、かまどで火をおこしてご飯をつくることを、今の子どもはプレわたで経験していません。

「新しい場所では、毎回火をおこすんだよ～」という私の言葉に、「おれ、棒一本で火をおこしたことがあるからできるよ」と嬉しそうに答えながら、「1時間かかったけどね」と言葉を付け加えたその子に、「いつまでたってもご飯くえねーじゃん」とつ

こむ周りの子どもたち(笑)

薪を割って火をおこしてご飯をつくる…それもピンとこない様子です。

これからたくさんの『初体験』が始まります。なにもない場所に、自分たちが考えてつくっていく体験…これってすごく貴重なことですよね。

完成図を誰も知らない…ワクワクですね♪

代表理事 田中雅子(通称:ける)



4年前まではこれが日常

### 速報

4月より、ラジオ石巻レギュラー番組が始まります

●放送日: 第二・第四水曜日 18:30~17:00  
【再放送】同週日曜日 10:30~11:00

●放送局: ラジオ石巻(76.4MHz)

●番組名: **こども∞感ばに一の「遊び」×「学び」×「心のサポート」**

是非聴いてくださいね♥ ご意見・質問も受け付け中

☆認定 NPO 法人こども∞感ばに- (愛称:こどもに-)とは…

2011年の東日本大震災後、宮城県石巻市の地域の大人とともに子どものあそび場づくりをきっかけに活動が始まりました。私たちは“子どもの笑顔が地域のなかで育まれるまちに”を理念に、地域のみならず一緒にプレーパークやフリースクール、放課後児童クラブを行っている団体です。

# チャリティ企画現代国際巨匠絵画展

## & あーとわーくぱーくご報告



2025年3月7日～3月9日の3日間、マルホンまきあーとテラスにてチャリティ企画『現代国際巨匠絵画展』&『あーとわーくぱーく』を開催しました。

62名の実行委員メンバーと来場者1,200名を超える方々と素晴らしい時間を共有することができました。

心から感謝申し上げます。(なおたろう)

あーとわーくぱーく正面



### 当日の雰囲気は、“the ことばにー”

会場には子どもたちの笑い声が響き、来場者とスタッフが自然に会話を交わす、温かい空気が流れていました。

作品を前に語り合ったり、「あーとわーくぱーく」で一緒に遊んだり、ことばにーらしい“ごちゃませ”な交流があちこちで生まれ、アートを通して人と人がつながる空間は、まさに“the ことばにー”な一日。訪れた人それぞれの心に、やさしい余韻を残す時間となりました。

### チャリティ企画の寄付額ご報告



本会への寄付額は合計 906,665 円でした。ありがとうございます！！

【内訳】 絵画売上の10%の寄付: 682,000 円

出店者売上の10%と募金: 224,665 円

また、絵画の売上の1%と会期中の募金 110,618 円、合計 178,818 円を能登半島の子ども支援団体に送金させていただきます。

### 絵画展を一緒につくったメンバーご紹介

★協賛してくれた企業・団体・個人のみなさま(敬称略)  
東日本自動車㈱、ヒノケン株式会社、ヨガスタジオ HARERU、KAZE-NOKO Forest PreSchool、快笑整体院、JAZZ MOFOS、パブロ・ピカソ、(有)鈴木自動車整備工場、おしゃべりサロンはらっぱ

★実行委員のみんな(敬称略)

土屋聡、KAZU、マー君、横山彰子(ふった)、前田麻理、おんちゃんしょう、前田麻理、きみじっち、平井希美枝、小野眞理、菅原聖人、山豊の娘、佐藤友視、ゆいと、米倉眞喜子、小野誠一、瀬戸口美里、ゆう、まい、なぎさ、しおん、ひなた、ゆりこ、すばる、いつき、宇都宮弘和、さいちやみ、みよ、るりり、おやさい、めあ、こうせい、サラダチキン、ぼはっく親子、谷祐輔、谷碧、谷燎、ののか、ようた、みち、みと、松本つばさ、堀込亘、今野歩、齋藤寛子、あつぷるぷらす、まっちゃん八百屋、パーラー山と田んぼ、まきボラかのかん、おいも家、ちゃぶ家うさぎ、季節のおいしい食卓 SONO、NPO 法人にじいろクレヨン、チアダンスチーム Rubies、そして実行委員長はえりっちょ、事務局はなおたろうでした。 みなさんありがとうございました



海外招待画家のヴィタリー氏を囲っての記念撮影

ことばにーのこれから

子どもも大人も、みんなで作る“みんなの居場所”

其の4

# こどもせづろプロジェクト

赤ちゃんからお年寄りまで、誰もが集えるプレーパークが新たな場所で始まります。

その実現に向けて2024年の春から動いていて、今回は報告『其の4』です。

新拠点の土地が決定♪ ちやくちやくと準備が進んでいますよ～

(ける)

## 新拠点の土地が確定しました♪

3月中旬、農地転用の許可がおりたので、あとは持ち主さんとの手続きが完了すれば、『新拠点への道のり第一弾』は終了です。

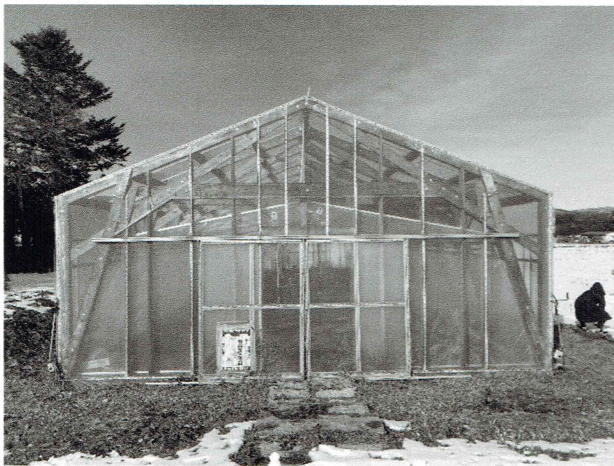
場所は、石巻市渡波地区の渡波中学校のちよつと奥の方。広さは500坪。第二弾が無事完了したら750坪になります。そして『第三弾』も？それは、これからのお楽しみ♪

さあ～これから土地の整備が始まりますよ～

写真:新拠点の土地をみた子どもは大はしゃぎ→



## ビニールハウスがほっとさせてくれる場に…



新拠点は市街化調整区域のため建物が建てられませんが、でもビニールハウスならOKとのことなのでいろいろ探してみました♪

そして出会ったのが『木製ビニールハウス』

温かみがあって、室内も改造しやすいの。

ご縁があれば、岩手県から譲り受けられそうです。

広さは30坪以上あるな～むちゃ広い～。

この広さがあれば、子どもだけでなく地域のおじいちゃんもおばあちゃんも、未就学児親子もみーんないっぺんに集うことができるよ～ 楽しみだあ

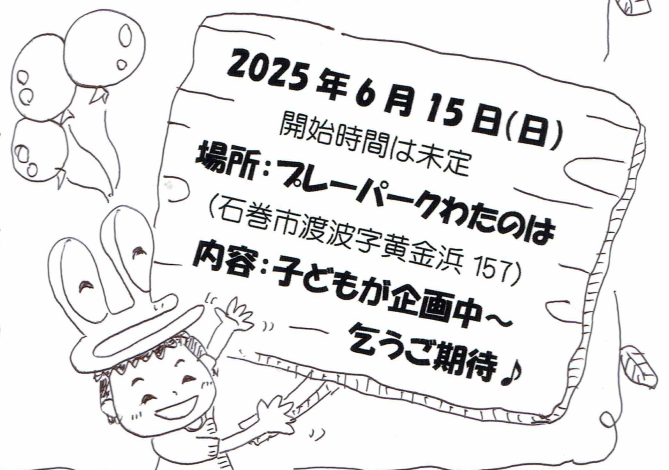
## ぷしわたあいがとうせれも二ー

14年間、子どもの遊びと居場所であり続けてくれた“プレーパークわたのは”には感謝しかありません。

そんなぷしわたに『ありがとう』の気持ちを込めてせれも二ーを開催します。

これから子どもと企画を進めていきます。盛りだくさんの企画になりますので、みなさん是非いらしてくださいね。

詳細はHPやメルマガでお伝えします♪



# フリースクール ぼはっく

毎週火・木・金曜日  
10:00～16:00  
当会事務所1階で開催  
体験無料  
減免制度あり

フリースクールの活動の様子は  
こちらから  
↓↓↓  

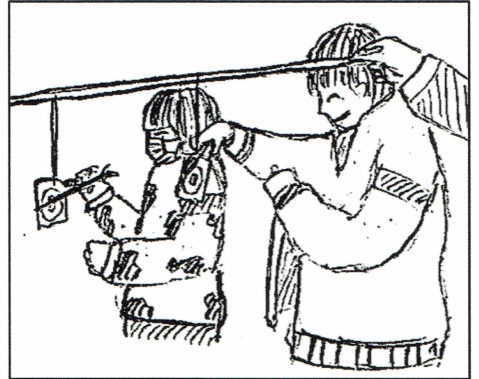

## 学びサポートセンターCOILと交流会！

『不登校』の子どもに向けて“学習機会の確保”と“社会的自立に向けた支援”を目的に、石巻市運営の『学びサポートセンターCOIL』。そんなCOILと1月に交流会を開催しました。

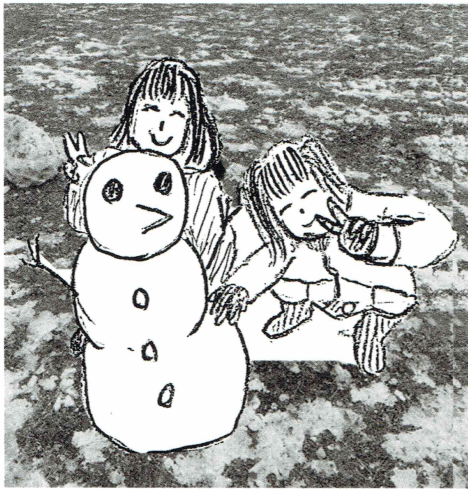
COILとぼはっくの子どもたちが企画を一緒に話し、当日の運営も行いました。

お菓子つかみ競争や洗濯ばさみ鬼ごっこ、椅子取りゲームなど、企画した子どもたちの想像力が発揮された種目ばかりでみんな楽しそう！最初はみんな初めてで緊張していましたが、ゲームが進むにつれて打ち解けていき、最後にはごちゃまぜでお昼ご飯を食べていました。

12月に宮城県内のフリースクール合同合宿に続き、『学校に行かない選択』をした子ども同士の交流という、とても貴重な機会となりました！  
(わこう)



## 雪だるまつくろー！



今年あまり雪が降らない年でしたね。

そんな中、雪が降った日は子どもたちは大はしゃぎでお外へ飛びだします。まずは、どこの場所が一番雪が積もっているか、雪探しから始まりました。

雪だるまを誰が一番大きく作れるかを競争したり、小さな雪玉を転がして巨大な雪玉を作って(多分1mはありました!)スタッフたちに見せようと試行錯誤をしながら近くの公園からぼはっくへ運んだり、雪合戦では自分たちでルールを決めて合戦するなど、子どもの発想力が無限大!と、完成した3段のかわいい雪だるまを見て改めて思ったのでした。  
(みと)

## 子どもの進む道

今年度も受験シーズンが終わり、2名が高校へ見事合格しました！面接練習では、最初は入室・退出もうまくいかず何度も練習し、面接の回答を考えるのが難しくて、「もう嫌だー！」ということも。それでも本番前日は何も言わず集中して、最後の追い込みに勉強や面接練習をしていました。

2人は、面接練習の中で「興味のある料理を学びたい」「やりたいことがまだないから高校で様々なことに挑戦して自分のやりたいことを見つけたい」と志望動機を話していました。

それぞれが自分の進みたい道を考え、進み始めています。

そんな子どもたちをこれからも見守り、必要なときは力になりたいと思っています。

いつでもぼはっくに帰ってきていいからね！



(わこう)

うほほ〜

# ピカリこらむ

学校に行かない・行けない子どもについて、けるがメッセージをお届けするコーナー  
そしてここでは、彼らを“ピカリちゃん”と呼びますね。  
理由はどんな子どもも**ピカリ**と輝いているから



## 本人の気持ちと母の気持ち

### 其の12

春は、新たな環境や自分で決めた道に向かって進みだす時期でもあります。

今回は、ぼはっくを経由して、自分の道を進みつづけるA君と、学校に行かない我が子を見守り続けたA君のお母さんの声をお届けします。

#### ・学校に行かなくなった時の気持ちは？

**A君**: 通勤族で環境がころころ変わっていくことに  
適応できずストレスになった

**母**: 人生おわりだな。学校に行かない子がどう  
なるか、全然想像がつかなかった。

#### ・ぼはっくに通っていた時の気持ちは？

**A君**: 気持ちも性格もどんどん活発に。家にいると  
気持ちが淀んでなにもしない日が続いた。こ  
こではやりたいことに極力答えてくれた。

**母**: とにかく楽しそうにしていたことが嬉し  
かった。それだけで充分。先を不安に思うより今

楽しければいいという考えに切り替えられた。

#### ・今はどんな気持ち

**A君**: 狩猟に興味をもち、大学に合格したので野生  
動物について学びたいと思う

**母**: 本人は葛藤した時間があつたと思うけど、こ  
れから先同じことがあつても大丈夫と信じて  
いる。

この後、「当時の自分と同じ境遇の人に伝えたいこ  
とは？」と話しは続きます。これらは、こどばにーシ  
ョート動画で紹介しているので、全部聞きたい方は  
ブログをご覧ください〜♪ (ける)

ほうかご!



# 児童クラブ

#### ●放課後児童クラブとは

保護者が就労等により家庭に不在の子ども  
(小1〜小6)を放課後や長期休みに預かり、  
家庭に代わる遊びや生活の場を提供する児  
童福祉事業です。  
学校や地域、保護者と連携し家庭の子育て  
を支援します。

## 子どもが安心して楽しめる「場」づくり

児童クラブは、子どもたちの自由な発想を尊重し  
ながらも、スタッフの視点を通じて安全や成長を  
見守る場として、両者の目線を融合させる重要な  
役割を果たしていると思います。

ある日、校庭で異学年の子どもたちが鬼ごっこを  
して遊んでいました。校庭全体を使っている中で、  
私は「薬山にとがっている石はないか」「土がぬ  
かるんでいて滑りやすい所はないか」を探して見  
回っていきます。

こうして、子どもたちは異学年と遊ぶ楽しさや学  
年を隔てて関わる中で社会性を学び、スタッフは、  
あらかじめケガなどのリスク管理と全体を見なが  
ら遊ぶ環境作りを楽しむ。子どもの自由な目線と

スタッフの配慮が交わることで、遊びが学びや成長  
の場として、さらに深みを増しているなど感じました。  
児童クラブは、子どもたちが安心して楽しみながら  
成長できる貴重な環境です。

その価値を保  
護者や地域に  
伝えることで、  
さらに多くの  
支援と理解を  
得られる環境  
を整えていき  
たいです。  
(よねよね)



# プレパークわたのほ ひがこ

【プレパークわたのほ】  
毎週金曜日 15:00~17:00  
毎週土・日曜日 10:00~16:00  
所在地:石巻市渡波字黄金浜 157

詳しい場所や  
プレパーク  
活動の様子は  
こちらから  
↓↓↓



【プレパークひがこー】  
毎週水曜日 15:00~17:00  
所在地:石巻市鹿妻南2-7  
(鹿妻東公園)

昨年からプレわたを担当している二人に会報誌の原稿をお願いしたら、二人とも“鬼ごっこ”を通じて見える子どもの世界を書いていました。

なので、今回のプレわた記事は“鬼ごっこ集”でおおくりします♪

(ける)

## プレわた

### 遊びに年齢は関係ない

この日は未就学児から中学生まで色々な世代が遊びに来ていた日。

中1の男の子が、みんなに向かって、「おーい、鬼ごっこする人～?」と呼びかけると、「はい!!!」とみんな集まって来ました。

その時、その場所に偶然集まった子ども達。名前を知っている人も知らない人も、学年も、そんなの関係なく、20人くらいで鬼ごっこが始まりました。一緒に楽しむことに年齢なんて関係ないよね。

小さい子には、ちょっと手加減したり、中学生が本気で逃げ回ったり、子どもたちは子どもたちなりに、遊びという中でたくさんの社会性を養っているなと感じたひとときでした!

(ちゃんゆみ)

### 鬼ごっこは奥が深い

「鬼ごっこやるヤツ集まれー!!!」

中学生の声かけにわらわらと集う小学低学年から中学生の子どもたち。

“変わり鬼”からはじまり、“増やし鬼”になり、“ドロケイ”に変化していき、たまに転びながらも、素早く起き上がり走り始める子どもたち。

ルールも合意形成を取りながら生き物のように変化していき、ごくごく自然に年齢も性別も超え

たやり取りがここにはある。

多様性を認め合い、様々な壁をぶち破るヒントは子どもたちの遊びに詰まっ

ている…そんな事を思いながら、こんなに鬼ごっこって疲れたっけ? と一人息が切れる新人スタッフのわたし。鬼ごっこは奥が深い。

(ゆうじろう)

## ひがこー

### 水溜めゲーム

先日、激しい雨が降った日に子どもと藤棚にブルーシートを掛けて雨宿りをしていました。

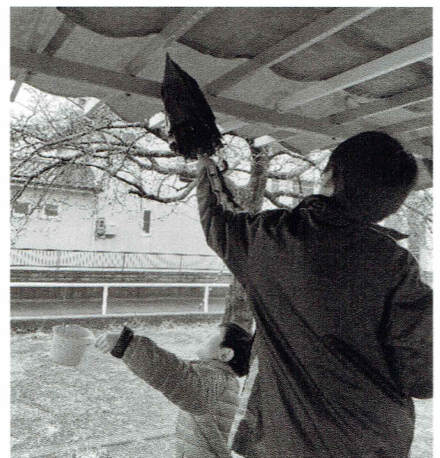
屋根を作ってから少し時間が経った頃、「雨の重さでシートが落ちてこないかな」「屋根が落ちてくる前に水を落としちゃおうぜ」という会話が聞こえてきました。

その後、男の子たちは傘でシートを一突きし、雨水が滝のように流れ落ちる様子を見て大盛り上がり!

傘でつつく役と砂場用の桶で受けとめる役を交代しながら「水溜めゲーム」が始まりました。

雨という一見マイナスな環境を利用して遊ぶ様子に「子どもはどんな環境でも自分で自分を楽しませる力を持っているな」と感じました。

(かつちゃん)





## 集え！全国のフリースクール！

毎年日本のどこかで開催されている『JDEC フリースクール全国大会』。今年は兵庫県神戸市で開催され、私も実行委員として参加しました♪

今年のテーマは「フリースクールの可能性を広げる」。全国各地で子どもの居場所づくりをしている人、これからフリースクールをつくらうとしている人などが集まり、子どもの多様な学びについて理解を深めました。

基調講演の講師は、認定 NPO 法人フリースペース たまりばの西野博之さん。西野さんのお話は「パワ一の塊」。講演内容が学びにつながったことはもち



ろん、「聞いているだけで勇気づけられる」そんなお話でした！

全国には約 35 万人の『不登校』児童生徒がいます。今回の学びとフリースクール同士の繋がりが生かせる活動にしていきたいです。（ロッキー）

## 岐阜県で講演会「自分で育つ子どもの力」



岐阜県子ども支援ネットワーク形成研修の講師としてお話してきました。

森の幼稚園やフリースクール、子どもの居場所づくりをおこなっている人が参加され、講演後のディスカッションでは『不登校』児童生徒への関わり方や運営資金の調達方法など、お互いの情報交換もできて深みある時間でした。

石巻から遠く離れていても、同様の課題感をもって活動する『同士』に出会えた感覚で、これからの活動が楽しみです♪（けろ）

## ことばに一卒業のごあいさつ

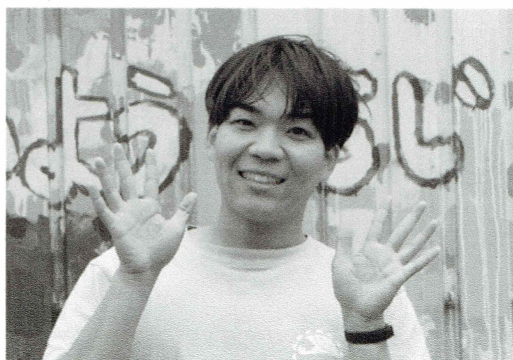
こんにちは。プレーパーク担当の“かっちゃん”こと勝又大海です。

2023年4月から2年間働かせていただいたことばに一を、3月末で退職することになりました。

「子どもが安心して育つための環境の一部になりたいな」と思いながら現場に入っていたのですが、たくさんのお会いや経験をもたらしてくれたあそび場はいつのまにか私にとってすごく大切で大好きな居場所となっていました。

4月からは地域の大人のひとりとして子どもたちを見守っていけたらと思います。

『ごちゃませプロジェクト』で動いている新たなプレーパークにも遊びに行くので引き続きよろしくをお願いします。（かっちゃん）



かっちゃん  
ありがとうね〜



# 事務局からのお知らせ

## 「みやぎチャレンジプロジェクト」のご報告とお礼

2024年12月1日～2025年2月28日の3ヶ月間、「ごちゃませプロジェクト」始動のための募金活動を実施しました。

※「ごちゃませプロジェクト」の詳細はP3をご覧ください。

その結果、みなさまのご支援とご協力のおかげで、総額 2,084,695 円の募金が集まり、目標を達成することができました。

寄付をしてくださった方、Facebook をシェアしてくださった方、募金箱を設置してくださった方など、みなさまの温かいご支援が大きな力となりました。スタッフ一同より感謝申し上げます。

今年の夏頃、新たな場所へプレーパークを移転し、『子どもと地域住民が安心して過ごせる居場所』をつくっていきます。どんなプレーパークが生まれるか、温かく見守っていただけると嬉しいです。

これからの展開をどうぞお楽しみに～！

(みー)



## お話し会＆「不登校」親の会開催のご案内

～経験者は語る「学校に行かなくなった私だって大丈夫」～(仮称)

- ◆日時:2025年6月28日(土)
- ◆会場:石巻市ささえあいセンター(予定)
- ◆定員:50名
- ◆講師:武山理恵さん



ふとうこうカフェ in 仙台代表理事、多様な学びを共につくるみやぎネットワーク共同代表、NPO 法人登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク理事

- ◆お申込み・お問い合わせ  
まずは石巻から『不登校』という言葉をなくしたいネットワーク  
MAIL:ishi.ma.iine55@gmail.com

## 「ラジオ石巻」放送決定

こどばに一のラジオ放送が4月から始まります！代表の田中が、子どもにとっての遊びの大切さや大人の役割、心のサポートについてお話しします。ぜひお聞きください！

- ◆日時:第2・第4水曜日 18:30～19:00  
【再放送】同週日曜日 10:30～11:00
- ◆放送局:ラジオ石巻(76.4MHz)
- ◆番組名:こども∞感ばに一の「遊び」×「学び」×「心のサポート」

こどばに一通信「だん子むし」発行元



認定 NPO 法人  
みやぎ  
こども∞感ばに一  
宮城県石巻市鹿妻南 2-1-7  
Mail:info@codopany.org  
Tel:070-2436-8517(事務局)  
HP: https://codopany.org/

◎継続サポーターのお願い

こどばに一の活動をみなさまのお力で支えてください。

サポート金額は月額 300 円から♥  
子どもが第三の大人とつながり、安心して過ごせるセイフティネットの場づくりにご協力ください。

詳しくはこちら →



◎活動報告の配信

☆こどばに一のこといろいろ  
(けろの独り言も配信)

●Facebook ●Instagram



「いいね」してね♥

